

## 第30回日ロ極東学術シンポジウム

### プログラム

日時：2014年11月29日（土）～30日（日）

場所：大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス

大阪府八尾市北本町2-10-45

近鉄大阪線「近鉄八尾」下車、徒歩5分

時間：10:00～17:30

### 報告

#### 11月29日（土）

1. ミナーキル、パーヴェル・アレクサンドロヴィチ（アカデミー会員、経済研究所、所長）  
「東北アジアにおける経済と経済統合—ロシアの展望」
2. レンジン、オレグ・マルコヴィチ（経済研究所、副所長）  
「住民、銀行、権力—ロシア極東地域の場合」
3. ゴーミナ、オリガ・ヴァレリエヴナ（経済研究所、燃料エネルギー経済部門長）  
「ロシアと東北アジア諸国とのエネルギー協力の有望な方向性」
4. イゾトフ、ドミトリー・アレクサンドロヴィチ（経済研究所、アジア太平洋地域における経済協力部門上級研究員）  
「中国の経済—発展への挑戦と可能性」
5. ザハルチェンコ、ナターリア・ゲンナーディエヴナ（経済研究所、数理経済・地域経済予測部門研究員）  
「地域経済動態のファクターとしての構造的連関」
6. バクラーノフ、ピョートル・ヤーコヴレヴィチ（アカデミー会員、太平洋地理学研究所、所長）  
「太平洋のロシア—地理的・地政学的ファクターと長期的発展の方向性」

[討論予定者]：大津定美氏（神戸大学名誉教授）、溝端佐登史氏（京都大学）、吉井昌彦氏（神戸大学）、雲和広氏（一橋大学）、アンドレイ・ベロフ氏（福井県立大学）、田端理一氏（大阪経済法科大学）

## 懇 親 会

18:00-20:00

### 11月30日(日)

1. ラーリン、ヴィクトル・ラヴレンチエヴィチ (歴史・考古学・民族学研究所、所長)  
「21世紀初頭のロシアの太平洋政策における中国と日本」
2. アレクセーエフ、アルカーディ・ヴラジーミロヴィチ (アカデミー準会員、ロシア科学アカデミー総裁顧問)  
「ロシア科学アカデミーの改革」
3. セルゲーエフ、オレグ・イゴレヴィチ (歴史・考古学・民族学研究所、ロシア極東史部門長)  
「ロシア太平洋岸におけるカザーク—歴史的経験と現在の現実」
4. ガリャーモヴァ、リュドミーラ・イヴァーノヴナ (歴史・考古学・民族学研究所、副所長)  
「第一次世界大戦中のロシア極東と日本—貿易・経済関係の発展」
5. ラーリナ、リリヤ・リヴォヴナ (歴史・考古学・民族学研究所、世論調査グループ長)  
「沿海地方住民の世論におけるロシアのアジア太平洋地域への統合—2014年のパイロット調査の結果」
6. コジェーヴニコフ、ヴラジーミル・ヴァシリエヴィチ (歴史・考古学・民族学研究所、日本センター長)  
「岐路に立つロ日関係—安倍首相のモスクワ訪問から1年半」
7. アフォーニン、ボリス・ミハイロヴィチ (歴史・考古学・民族学研究所)  
「ロ日関係における文化的・人間的側面」

[討論予定者]: 袴田茂樹氏 (新潟県立大学)、ヨコタ村上孝之氏 (大阪大学)、生田美智子氏 (大阪大学名誉教授)、伊賀上菜穂氏 (中央大学)、五十嵐徳子氏 (天理大学)、藤本和貴夫氏 (大阪経済法科大学)、アレクサンドル・ディボフスキー氏 (大阪大学)、セルゲイ・トルストグーゾフ氏 (広島大学)

すべての報告・討論は日本語とロシア語に通訳されます。

なお、報告の順序が入れ替わる場合があります。